

## 第3回ランチタイムFD 参加者アンケート結果

全学教育センター

### I. 回答者の属性

回答者は、参加者18名のうち、15名であった。

回答者の属性は、

職種：専任教員12名、非常勤教員0名、職員3名

性別：男性11名、女性4名

所属学部等：社会福祉学部1名、経済学部4名、健康科学部0名

子ども発達学部5名、国際福祉開発学部0名、福祉経営学部2名

職員（全学教育センター含む）3名

### II. 参加への経緯

本会の開催についてどのように知ったかについては、

ポスター3名、チラシ1名、教授会資料4名、知人1名、web1名、

メール（ML含む）9名、その他1名（複数回答あり）であった。

今回のランチタイムFDに参加を決めた理由については、

来年度に文書作成講座を受け持つに当たって、

今どきの学生像を理解しておきたいと思った 1件

講師の先生を個人的に知っているから 1件

自分も担当している学部・学年に関する話であるから 1件

講師の先生の経験に基づく話を聞きたかったから 2件

学生指導の参考のために 1件

学部のカリキュラム改革に関わると思ったから 1件

興味があった・テーマに関心があったから 2件

教育に関する背策化の必要性から 1件

### III. ランチタイムFDのプログラムについて

全会全体の評価を12項目でたずねた。その結果を以下に示す。

#### 1. 今回のランチタイムFDは、全体的に満足のものだった

	人数	割合(%)
4. そう思う	8	53.3%
3. どちらかというと思う	5	33.3%
2. どちらかというと思わない	0	0.0%
1. そう思わない	0	0.0%
0. 分からない(該当外)	1	6.7%
無回答	1	6.7%
	15	

2. 事前に、このランチタイム FD の目的を理解していた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	9	60.0%
3.	どちらかというと思う	4	26.7%
2.	どちらかというと思わない	1	6.7%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	1	6.7%
	無回答	0	0.0%
		15	

3. 今回のランチタイム FD の目的は分かりやすく説明されていた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	11	73.3%
3.	どちらかというと思う	2	13.3%
2.	どちらかというと思わない	0	0.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
	無回答	2	13.3%
		15	

4. 開催の日時、時間帯は適切であった

		人数	割合(%)
4.	そう思う	9	60.0%
3.	どちらかというと思う	5	33.3%
2.	どちらかというと思わない	1	6.7%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
		15	

5. 事務局は手際よく運営していた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	9	60.0%
3.	どちらかというと思う	6	40.0%
2.	どちらかというと思わない	0	0.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
		15	

6. 内容は、ちょうどよいレベルに設定されていた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	7	46.7%
3.	どちらかというと思う	8	53.3%
2.	どちらかというと思わない	0	0.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
		15	

7. 内容は、わかりやすい順序で進められた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	9	60.0%
3.	どちらかというと思う	4	26.7%
2.	どちらかというと思わない	0	0.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	1	6.7%
	無回答	1	6.7%
		15	

8. 配布資料はわかりやすいものだった

		人数	割合(%)
4.	そう思う	2	13.3%
3.	どちらかというと思う	2	13.3%
2.	どちらかというと思わない	5	33.3%
1.	そう思わない	1	6.7%
0.	分からない(該当外)	2	13.3%
	無回答	3	20.0%
		15	

9. 話題提供者の説明はわかりやすいものだった

		人数	割合(%)
4.	そう思う	12	80.0%
3.	どちらかというと思う	3	20.0%
2.	どちらかというと思わない	0	0.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
		15	

10. このランチタイム FD を通して、人的なつながりを作ることができた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	1	6.7%
3.	どちらかというと思う	1	6.7%
2.	どちらかというと思わない	5	33.3%
1.	そう思わない	1	6.7%
0.	分からない(該当外)	4	26.7%
	無回答	3	20.0%
		15	

11. このランチタイム FD を通して、自分に有益な情報を得ることができた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	5	33.3%
3.	どちらかというと思う	5	33.3%
2.	どちらかというと思わない	3	20.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	1	6.7%
	無回答	1	6.7%
		15	

12. 今回の内容は、今後の自身の取り組み（指導・支援など）をするうえで役に立ちそうだと

		人数	割合(%)
4.	そう思う	5	33.3%
3.	どちらかというと思う	6	40.0%
2.	どちらかというと思わない	2	13.3%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	1	6.7%
	無回答	1	6.7%
		15	

12. でお答えの内容について、具体的にはどのような点が役に立ちそうですか。

無回答 10件

- 今後の授業等の基盤として、活用していきたい。
- 学生をサポートするポイントがつかめた感じ。1年生の間の目標を設定する参考になった。
- 各学部での取組の在り方の検討素材を提供する予定でいるため、こ知らが持っている問題意識を補強してもらえた。
- 特に質問が出ませんでした。が、主席した先生型も学生像について概ね同じ感想や見解をお持ちなんじゃないでしょうか？
- たぶん、どう学生に向き合うか、どんな対応のバリエーションや視点があるかを共有・意見交換したいのかも。(前向きな人ならば)
- ただ、それをやるとキリのない議論のループになるだけかもしれません。
- 普段は聞くことのできない予備校講師の立場としての話も交えて話していただき、受験生の状況も把握できました。

IV. 今後、FDで扱ってほしいテーマがあれば、ご提案ください。

無回答 13件

- 学生のことは、今後も必要であり情報として欲しい。やはり、ランチタイムFDでは食事はし難い。
- "いわゆるいまどきの学生の弱さや未熟さが問題になっているので、そこをどうしたら一人でも多くの学生に強さや自身を持たせられるのかという議論。
- 個人的には、社会との接点を在学中に持たせるなどが思いつきます。"